

青少年体験学習事業(英語スクール)「リアスでえいご」

## 英語を通じて楽しく交流

7月28、29日、リアスホールで、青少年体験学習事業(英語スクール)「リアスでえいご」を行いました。同スクールは、子どもたちに遊びながら基礎的な英語に触れてもらい、国際コミュニケーション能力の育成などにつなげようと市教育委員会が初めて企画。参加者は、外国人英語指導助手(ALT)と一緒に英会話や絵本の読み聞かせ、歌やダンスなどを通じて交流を図りました。



## 三陸沿岸道路吉浜釜石道路開通式

### つながる道に期待を寄せ

震災復興道路として整備が進められている三陸沿岸道路の吉浜釜石道路の吉浜IC～釜石南IC間(5km区間)が8月11日に開通し、セレモニーが行われました。式典には関係者約150人が参加し、開通を記念してテープカットを行った後、地域住民らが乗った車両約50台が走り初めを行いました。吉浜釜石道路の残り区間についても、本年度中に開通する見込みとなっています。



(7) 広報大船渡 30.9.5(No.1134)

## 三陸・大船渡夏まつり

### 街を彩るイベント盛大に



8月3、4日、大船渡市魚市場を主会場に、三陸・大船渡夏まつりが開かれました。海上七夕湾内巡航や大船渡ゆかりの歌手による海上七夕歌謡ショーが行われたほか、市民道中踊りでは約1,200人が参加し、大船渡の夜を盛り上げました。花火大会では、8千発の花火が夜空を彩り、さんま船による模擬操業も行われ、見物客から大きな歓声が上がりました。

## さんま一番船入港式

### 本州初さんま水揚げ祝う



8月25日、魚市場で、さんま一番船入港式を行いました。魚市場には、第15三笠丸が初さんま16トンを積載し一番船で入港。本州一早い水揚げとなりました。式では、水産関係者などで初水揚げを祝い、さんま船関係者の労をねぎらいました。26日の「初さんまうにアワビ帆立かきホヤわかめ祭」では、初さんま8,000匹が炭火焼きで振る舞われ、来場者が秋の味覚に舌鼓を打っていました。

## トピックス 1

### 地域包括ケア推進本部会議

7月30日、市役所で、地域包括ケア推進本部会議を行いました。同会議は、高齢者が住み慣れた地域で最期まで暮らせるよう医療・介護・予防・住まい・生活支援が提供される体制「地域包括ケアシステム」の構築を効率的に推進するため設置しています。会議では、日頃市地区・盛地区助け合い協議会の生活支援コーディネーターから、地区アンケート結果や地域で開催されているサロン活動などの現状について活動報告が行われ、出席者間で今後の地域包括ケアに向けた課題などについて話し合いました。



①高齢者が安心して暮らせる社会を目指し協議  
②左から船野克之(日頃市地区)、佐藤勝利(盛地区)コーディネーター



## トピックス 2

### 国際交流員(CIR)委嘱状交付式

8月3日、市役所で、国際交流員(CIR)の委嘱状交付式を行い、米国出身のリー・オリビア・ジェーンさんに委嘱状を交付しました。国際交流員は、外国人観光客誘致や受け入れ態勢整備などを図るため本市で初めて委嘱し、観光推進室に配置しました。今後は、外国人観光客の増加や交流を活発にするため、観光情報の多言語化、ホームページやSNSを活用した情報発信、外国人目線による観光資源の掘り起こし、英語版観光パンフレット・マップの作成サポートなどに取り組んでいきます。



①国際交流員に委嘱されたオリビアさん  
②外国人観光客の誘客と交流に向け活動するオリビアさん

## トピックス 3

### 大船渡市少年センター高校生一日少年補導委員委嘱状交付式

8月7日、市内ショッピングセンターで、高校生一日少年補導委員委嘱状交付式を行いました。この取り組みは、青少年の非行被害防止・健全育成の意識を高めるため、市少年センターが平成27年度から実施しています。式には、少年補導委員、大船渡警察署員などが出席。戸田市長が、地元高校の生徒20人を一日少年補導委員として委嘱しました。巡回を行った生徒たちは、初めての経験で戸惑う一面を見せながらも、少年補導委員や大船渡警察署員の後押しもあり、買い物客や店員へのチラシ配りや声掛けなどに積極的に取り組んでいました。



①代表して戸田市長から委嘱状を受け取る高校2年の小林さん  
②少年補導委員の活動に理解を深めました